



いずみさの

No.178
2022.2.1

市議会だより



講師 茅野 龍馬氏

New Topics

新型コロナワクチン 関連予算を可決

新型コロナワクチンの
3回目接種実施事業費など

目次

- ◆議会活動報告..... 2
- ◆12月定例会の結果報告..... 3~6
- ◆一般質問..... 7~11
- ◆議会豆知識..... 12
- ◆ご案内..... 12

本会議・委員会をインターネットで配信しています。 [泉佐野市議会](#)

[検索](#)



政策提言

10月6日

総務産業委員会では、本市の防災力のさらなる強化を図ることをテーマに、災害ボランティアや自主防災組織についてなどの研修を行い、今後の防災体制等について検討を行ってきました。

この度、「泉佐野市における防災力のさらなる強化について」をまとめ、政策提言として市長に提出しました。



議会による行政評価

10月20日

議会による行政評価は適正な行政運営の確保に努めることを目的に、市が実施している政策、施策、事務事業等について、有効性、効率性、必要性等の観点から評価をします。

令和3年度は「森林保全」・「漁業振興」・「下水道整備の推進」の施策についての評価を行い、評価結果を市長に提出しました。



総務産業委員会視察

11月10日

令和3年11月10日(水)に総務産業委員会で、りんくうタウン共同溝とりんくう野外音楽堂の2カ所を視察しました。

共同溝とは、道路下の空間を合理的に有効利用し、電気・ガス・水道・電話など各種の配管・配線類を地中の1カ所に埋設するもので、電柱などの地上設備がなくなり、都市景観が向上します。

「りんくうタウン共同溝」は、りんくうタウン全域に送る幹線共同溝と需要者への供給を目的とした供給管共同溝の両面を持った共同溝で、その収容物件の種類・標準部の規模・共同溝の全長などすべての点において国内最大規模の共同溝です。その内部の一部を今回視察しました。

一方、令和3年10月24日にオープンした「りんくう野外文化音楽堂」は日本の伝統芸能、音楽、その他の芸術などの活動及び体感する機会を通じて、さらなる市民交流の促進を図る目的で建てられました。市職員からは「芸能・音楽等幅広い芸術分野で多くの団体に活用していただきたい。」との説明と意気込みを聴きました。



12月定例会議を開催

議案
第68号

令和3年度
泉佐野市一般会計補正予算(第8号)

可決
賛成多数

今回の補正予算額は歳入歳出それぞれ9億5,207万円を追加するもので、主な内容としては投資的経費として猛暑対策整備事業、長南小学校プール整備事業、図書館整備事業、衣通姫ガイダンス施設整備事業などの経費が、経常経費としてコロナ対策関連事業などの経費が計上され、常任委員会で審査しました。

総務産業委員会

・観光振興事業

「Go To Izumisanoキャンペーン2022」は、市内宿泊施設への宿泊者に対し、地域ポイント「さのぼ」を付与する事業です。

長期化する新型コロナウイルスの影響により経済活動が停滞する中、影響を大きく受けている市内宿泊事業者、飲食・小売事業者等の活性化を図り、泉佐野市に継続的に関わる関係人口の創出・拡大、並びに、消費の喚起・拡大を目的としています。実施期間は令和4年2月～令和4年3月です。

この事業の予算総額は約7,676万円です。予算総額に到達した時点で期間内であっても終了となります。



厚生文教委員会

新型コロナウイルス感染症予防対策関連事業として、

①「新型コロナワクチン」の3回目接種を実施するための経費、約3億933万円

②新型コロナワクチン接種促進事業費、約1億896万円

3回目の接種を終了した市民の方々全員に対し、地域ポイント(さのぼ)を一人につき5,000ポイント付与するための経費です。

③小・中学校管理運営事業費として、各小・中学校の予防対策のためアルコール消毒液等消耗品の配備のための経費、約1,248万円

④感染拡大防止対策支援事業として、市内5カ所の介護施設に対し、感染症への対応力を図るため、簡易陰圧装置の設置費用を助成する経費、約759万円

などについて審査しました。



議決結果一覧表

全会一致で可決された案件

議案番号	案 件
議案第53号	住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例制定について 市場東地区の住居表示の実施に伴い、区域内にある公共施設の所在地の表示が変更となることから、関係条例の整理を行うための議案です。
議案第56号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について 誰もがわかりやすい住所の表記をめざし、南中岡本地区の住居表示を実施する区域と方法を定めるための議案です。
議案第57号	稲倉池用水使用等についての条例の一部を改正する条例制定について 現在大阪府の所有となっている稲倉池について、このたび泉佐野市へ譲渡されることを受け、市の資産として明記するための条例改正です。
議案第58号	泉佐野市建築物等における不良な生活環境の解消に関する条例制定について 市内で発生するであろう、いわゆる「ゴミ屋敷」に対する行政指導等を可能とするための条例制定です。
議案第59号	泉佐野市空き地の雑草等の除去に関する条例制定について 市内住宅地等に点在する空き地の雑草等により、ごみの不法投棄の誘発や悪臭、害虫の発生など、近隣住民へ及ぼす被害を抑制するため、行政が所有者へ指導等を可能とするための条例制定です。
議案第60号	泉佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について 新たに都市計画を決定した「日根野俵屋地区地区計画」、「羽倉崎駅南地区地区計画」の2地区の内容について、追加変更するための条例改正です。
議案第62号	泉佐野市田尻町障害支援区分認定審査会共同設置規約の変更について田尻町と協議することについて 審査会の執務場所である泉佐野市役所所在地の市場東の住居表示の実施に伴い、障害支援区分認定審査会共同設置規約を変更する議案です。
議案第63号	泉佐野市田尻町介護認定審査会共同設置規約の変更について田尻町と協議することについて 議案第62号と同様に泉佐野市役所所在地の住居表示の実施に伴い、介護支援区分認定審査会共同設置規約を変更する議案です。
議案第64号	泉佐野市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について 国民健康保険加入者への出産育児一時金を従来の「404,000円」から「408,000円」に増額する変更案です。

議案第65号	<p>泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町及び岬町における広域福祉課の共同設置に関する規約の変更について関係市町と協議することについて</p> <p>議案第62号、63号と同様に泉佐野市役所所在地の市場東の住居表示の実施に伴い規約を変更する議案です。</p>
議案第66号	<p>泉佐野市営プール条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>泉佐野市内にある現行の「泉佐野市日根野プール」の名称を「泉佐野市立日根野市民プール」に変更し、今回新設中の「泉佐野市立りんくう市民プール」を追加し、合わせて市民プールとする条例改正です。</p>
議案第67号	<p>泉佐野市民テニスコート条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>新設中の新町テニスコートを条例に加えるための議案です。</p>
議案第70号	<p>令和3年度泉佐野市一般会計補正予算(第9号)</p> <p>令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれ、出生届により本市に住居登録された新生児の保護者を対象に、新生児1人につき10万円を給付する「いずみさの新生児臨時特別給付金事業」6,350万7千円、国の制度により実施される0歳から高校3年生までの子ども1人あたり10万円相当の給付を行う「子育て世帯臨時特別支援事業」14億8,046万3千円、市独自施策として、国制度の支給対象外となる0歳から高校3年生までの子ども1人あたり10万円相当の給付を行う「子育て世帯臨時特別支援(市単独)事業」1億3,578万7千円などの予算が計上されました。</p>

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	結果
議案第49号 議案第50号 議案第51号	<p>埋蔵文化財行政に関する事務の受託について泉南市と協議することについて</p> <p>埋蔵文化財行政に関する事務の受託について阪南市と協議することについて</p> <p>埋蔵文化財行政に関する事務の受託について田尻町と協議することについて</p> <p>広域連携による業務の集約化により人員体制の効率化に繋げるため、広域化に賛同した2市1町により埋蔵文化財の発掘調査等の事務を受託することを協議するための議案です。</p>	可決
議案第52号	<p>泉佐野市立文化会館、泉佐野市立生涯学習センター、泉佐野市立佐野公民館、泉佐野市立長南公民館及び泉佐野市立日根野公民館の指定管理者の指定について</p> <p>市内の文化会館(エブノ泉の森ホール)、生涯学習センター、佐野・長南・日根野、各公民館の指定管理者の指定を承認するための議案です。</p>	可決
議案第54号	<p>泉佐野市立上之郷コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について</p> <p>泉佐野市立上之郷コミュニティセンターについて、令和4年4月1日から、指定管理者による管理に移行するための条例改正です。</p>	可決

議案第55号	泉佐野市立上之郷コミュニティセンターの指定管理者の指定について 泉佐野市立上之郷コミュニティセンターの指定管理者の指定を承認するための議案です。	可決
議案第61号	泉佐野市立自転車等駐車場の指定管理者の指定について 現在、泉佐野市立の自転車駐輪場の管理運営は指定管理制を採用しており、その指定管理期限が令和3年度末で終了することを受けて、令和4年度から5年間の指定管理者の指定を承認するための議案です。	可決
議案第69号	令和3年度泉佐野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
請願第2号	国保料の子ども均等割無料化を求める請願	不採択

議案第68号は3ページをご覧ください。

議案の賛否 表決が分かれた案件の賛否一覧です

	公明党				チーム泉佐野創生			自由民主党			日本共産党		大阪維新の会		正道の会・泉新の会		新緑未来	
	大庭 聖一 副議長	土原 こそえ	岡田 昌司	辻中 隆	野口 新一	向江 英雄 議長	大和屋 貴彦	西野 辰也	長辻 幸治	高橋 圭子	福岡 光秋	高道 一郎	日根野谷 和人	新田 輝彦	辻野 隆成	中村 哲夫	中藤 大助	布田 拓也
議案第49号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第50号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第51号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第52号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第54号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第55号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第61号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第68号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第69号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
請願第2号	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×

議長は賛否同数のときのみ表決し、議案の可否を決定します。 ○：賛成、×：反対



一般質問

議員が市の一般事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問します。泉佐野市議会では、議員一人あたりの質問時間は答弁を含めて30分で、会派を代表して行う代表質問は所属議員の人数分の時間を使うことができます。



「演壇」
この場所で質問を行います。



▲議会中継のQRコード



各議員の一般質問の内容は、本会議での発言を要約しています。質問の全内容は、インターネットで泉佐野市議会ホームページの「議会中継」または、「会議録検索」（2月末日配信予定）をご覧ください。

公明党
泉佐野市会議員団 代表
岡田 昌司 議員



新型コロナウイルスワクチン接種について

Q 本市のコロナ新規感染者数の推移、初回（1回、2回目）ワクチンの接種状況について、また3回目の追加接種体制について問う。

A 本市における新規感染者の数は令和2年3月の4人から始まり、その後、増減を繰り返し令和3年8月には一か月で311人と、これまでの最多人数となりました。11月は0人となりましたが、変異株の拡大が予想される中で、引き続き感染症対策を継続していただきますようお願いしてまいります。

ワクチンの接種状況については12月12日までの2回接種完了者は12歳以上で1回目が83.1%、2回目は81.6%の方々が接種完了しております。

本市の3回目接種の準備状況については、ワクチン接種記録システム等からの情報整理や、医療機関への協力依頼や説明などの調整に努めているところです。

・新型コロナウイルスワクチン接種について
・地域活性化について
・3歳児健診の視力検査について

地域活性化について

Q アフターコロナでの取り組みについて、消費喚起、地域活性化に向けた本市での取り組みについて問う。また、エシカル消費⇨地産地消⇨SDGsとの概念で、本市の地域資源を生かした地産地消推進の取り組みについて問う。

A 本市の地域活性化施策として、事業「泉佐野市お買い物キャンペーン」を令和4年1月5日から1月31日まで、また、泉佐野市内の宿泊事業者や「さのぼ」加盟店の利用を促進する「Go To IZUMISANO」を2月開始目標で実施する予定です。

本市の地産地消については、JAが経営する「こーたり〜な」での地場野菜の直売、生産者とJAで組織される「農産物地産地消推進協議会」による、とりたて野菜の即売会や、泉佐野産（もん）普及促進事業等の取り組みを行っております。



3歳児健診の視力検査について

Q 3歳児健診の視力検査に弱視などの異常を判定できる「スポットビジョンスクリーナー」の導入を要望するが、そのメリットや課題について問う。

A スポットビジョンスクリーナーは、屈折検査機器の一つで、コンパクトサイズで持ち運びが可能であり、子どもが短時間、機器のほうを向くだけでデータが取得でき迅速かつ的確に弱視や斜視など、子どもの目の屈折異常を早期発見することが期待できるものです。

導入が有用であることは認識しており、担当職員の増員、購入費用が高額であるなど課題もありますが、令和4年4月頃の導入予定で進めてまいりたいと考えております。



・小学校プログラミング教育について
「おくやみコーナー」の設置について
・HPVワクチンの勧奨再開に向けて

「おくやみコーナー」の設置について

Q 家族を亡くした遺族が行う手続きをワンストップ（1カ所）で受け付ける「おくやみコーナー」の設置にあたって、どのような流れで手続きが行われるのか、どのくらい時間短縮が図れるか、今後の設置スケジュールについて問う。

A 手続きの流れについては、予約制で、お亡くなりになられた方や遺族の状況に応じて必要な手続きを抽出し、申請書の作成補助・受付、年金事務所など関係機関への案内等を行うワンストップサービスを提供できるように検討してまいります。

今後のスケジュールについては、さらなる住民サービスの向上を図るため、来年10月を目標に窓口業務を担う地方独立行政法人の「申請等関係事務処理法人」設立を目指しており、法人設立後できるだけ早い時期に設置できるように人的体制等を検討してまいりたいと考えております。



大阪維新の会
泉佐野市議会議員団 代表
日根野谷 和人 議員



復活後のふるさと納税について

Q 府内高校生の短期留学支援や公益活動の助成をするために市民が本市のふるさと納税をもっと活用していただける方策の検討をお願いしたいと思いますが、現在までのクラウドファンディングや返礼品として新たな地場産品の創出などの取り組み実績は。

A 令和2年11月から開始した「#ふるさと納税3・0」は新たな地場産品を作りたいという提案を公募し、プロジェクトを立ち上げ、必要な初期コストを支援するもので、その補助金の原資をふるさと納税型クラウドファンディングで調達するという取組みです。令和2年度は9つのプロジェクトが立ち上がり、総額5億5千万円の寄附が集まりました。また、すべてのプロジェクトが事業化を果たし、現在、地場産品の返礼品として活躍しています。今年度は13のプロジェクトが立ち上がり、年を追うごとにプロジェクト数も多くなっています。



ふるさと納税について
・学校教育について
・コロナ禍の観光行政について

不登校問題について

Q コロナの影響等で増加傾向にある不登校生徒の現状と対策は。

A 本市の不登校千人率は小中学校ともに全国平均を上回り、大きな課題の一つとなっています。対策については内外の関係諸機関と連携・協働しながら取組みを進めています。また、小中学校不登校担当教員が参加する「不登校対策サポート委員会」を月1回開催し、担当教員が校内で発信し、市内全体で不登校対策を進めていく体制づくりに努めています。

Q 先ごろ開設された民間のフリースクールについてはどのようなように思われていますか。

A 不登校に対する考え方が、学校復帰から、社会的自立に最終目標が変わってきています。居場所づくりの一つとして、フリースクールも大事な施策であり、意見交換等の連携をしていきます。



自由民主党
泉佐野市会議員団 代表
長辻 幸治 議員



・GIGAスクール構想について
・新型コロナウイルスについて
・選挙について
・葵町日根野線の歩道について

葵町日根野線の歩道について

Q マウンドアップ型式の歩道の段差の解消計画はどれぐらい進んでいますか？またどのような工事内容で最終イメージと完成はいつ頃になりますか？

A 令和3年度において歩道の段差改修いわゆるバリアフリー化工事を施工するための設計委託を行い、施工方法を検討しています。

当該道路の歩道は、歩道の高さが車道面に対して5cm程度高いセミフラット形式に改良します。一段上がった歩道を車道の高さに下げ、住宅等の民地からの出入りがスムーズにできると同時に、歩道を歩行者が安全に通行できるように段差を改修する工事内容です。

令和4年度より、上水道の更新及び公共下水道の整備といったインフラ整備の工事に着手し、歩道の段差解消は令和7年度の完成予定として施工してまいります。



GIGAスクール構想について

Q 現在どのように使用され、今までと違った新たにできるようなこと。また先生方の負担が増えて生徒に向き合う時間が減っていませんか？

A 各校に整備したICT環境のもと、各教科等でのPC端末を活用したソフト面での実践を重ねているところです。一人ひとりの教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習の展開が図れることや、双方向の意見交換が容易に短時間で行うことが可能となり、学級・学校を超えた多様な考えに触れながら学習を深める効果も期待できるものと考えております。

GIGAスクール構想は、授業準備や成績処理等の負担軽減にも資するもので、ICTの活用は教職員の働き方改革にもつながるものであり、今後、適切なサポート体制の整備に努めてまいります。



日本共産党
泉佐野市会議員団 代表
福岡 光秋 議員



・高齢者の命と生活を守るについて
・子育て家庭への公的援助について

高齢者の生活について

Q 自動車運転免許証の返納に伴う交通手段確保のため、コミュニティバス運行の利便性向上を。

A 一方での巡回は、利用者の方には遠回りになるご不便をおかけしています。現コースを双方で運行するには新たにバス停を設置する必要がありますが、設置場所の条件が非常に厳しく新設は難しくなっています。また、新たに車両購入と運航費用、バス停新設費用が必要となるなどの課題があります。

他の自治体の状況も調査するなど、解消に向けて研究してまいります。



子育て世帯への公的援助について

Q 小・中学校の給食費無償化の定着について

A 引き続き経済、雇用情勢が厳しいと予測されるため、さらに1年間給食無償化を継続し、子育て世帯の経済的支援を図ります。現在の

学校給食無償化は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急的な措置で、年次ごとに判断してまいります。



Q 国の制度、18歳以下への10万円給付以外に、市独自の支援策を。

A 政府が定めた所得制限を撤廃し、18歳以下の子どもたち一人当たり10万円の給付を行います。また、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれた新生児を対象に「いずみさの新生児臨時特別給付金」(児童一人当たり10万円)を支給します。

Q 75歳以上の医療費の窓口負担2倍化について、来年10月以降の実施予定だが、市独自の軽減策を求めます。

A 後期高齢者医療制度は、本市が直接的に運営をしている制度ではないため、市としての軽減策を実施する予定はありません。



正道の会・泉新の会 代表
辻野 隆成 議員



・上下水道について
・都市計画について

下水道管の進捗状況について

Q 下水道の汚水整備は近隣他市に比べて遅れており、国際空港のある日本の玄関都市としては、少しでも早く整備を進める必要があると考えるが、市の見解は。

A 令和3年3月に策定した下水道事業経営戦略に基づき、令和12年度までの10年間で約200ヘクタールの汚水整備を行う予定です。今後の下水道使用料などの収入との収支バランスを考慮しながら、令和3年度から令和12年度までの年間普及率を1.0%から1.5%と段階的に引き上げる計画です。具体的には令和3～5年度までの年間汚水人口普及率を1.0%、令和6～9年度まで1.3%、令和10～12年度までを1.5%を目標として、令和12年度末の人口普及率を54.3%に引き上げたいと考えます。

用途地域の見直し変更について

Q 用途地域の制限は、都市的土地利用の基本的な方針であり、そ



れにより建築される建物や、その地区の街づくりが大きくかわっている。用途地域の変更の見直しを予定している所があるのか。

A 南海泉佐野駅周辺及びJR東佐野駅周辺においての用途地域の変更につきましては、現在それぞれの地区の現状及び動向、住民の意向等地域の実情や課題などを勘案した上で、どのように土地利用を誘導していくべきかの検証を行っています。今後は都市計画変更の素案を作成し、大阪府との協議を進め、関係権利者への説明会や案の縦覧等を行った後、来年度の都市計画審議会に諮る予定です。

南海鶴原駅周辺につきましては、用途地域の変更を検討していくべき地域と認識しており、来年度から地域の実情や課題などの調査を開始し、令和5年度の都市計画審議会に諮りたいと考えています。



新緑未来 代表
布田 拓也 議員



・地域経済の繁栄と農業支援について
・これからの学校と教育はどのようなべきか

不登校の状況と対策、課題

Q 不登校児童生徒が増える中、その対策は非常に重要な課題。状況と対策を教えてください。

A スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーへの相談件数は増加傾向にあり、何らかの不安を抱えている児童生徒や保護者が増加していると思われまます。本市教育委員会としましては、学校・家庭・地域で、子ども達が安心して安全に過ごせる環境づくりを引き続き進めてまいります。

コロナが子どもに与える影響

Q コロナによる制限等が子どもに心と体の成長に与える影響について、調査分析、対策の準備が必要と考える。教育委員会の考えは？

A 国立成育医療研究センターが今年の9月に実施したアンケートでは、新型コロナウイルスへの感染を不安視し、学校生活の変化に戸惑う声が目立ったとのこと。本市において同様の調査は実施しておりませんので推測になりますが、

「新しい生活様式」による心理的な圧迫感や、感染への不安、生活リズムの乱れや経済状況の悪化など、学校生活のみならず、家庭生活にも大きな影響があると考えられます。

これからの学校と教育について

Q 高度経済成長期から現代までの時代は学歴や教育の標準化が求められたが、時代が変わり、教育のあるべき姿も変化しつつある。その違和感が不登校やいじめ、病気等に現れると考える。地域の子ども達をどう育てるか、これからの学校と教育はどうあるべきか？

A 本市では、今年の10月に「第一次泉佐野市教育振興基本計画」を改訂し、今後の方向性について、お示ししているところです。児童生徒の才能や能力に応じてそれぞれの可能性を伸ばせるよう本人の希望を尊重した上で、場合によっては教育支援センターやICTを活用した支援、フリースクールでの受入れなど、様々な関係機関等と連携・協働し、社会的自立への支援を行ってまいります。

チーム泉佐野創生 代表
大和屋 貴彦 議員



子育てから介護の包括支援で
多世代を結ぶ泉佐野版「ネ
ウボラ」をめざして

Q 総合的な子育て支援制度「ネウボラ」の進捗状況は。

A 拠点整備として平成29年3月に市役所本庁舎3階に子育て支援課及び健康推進課(旧保健センター)を配置、また、昨年10月から地域型包括支援センターがスタートしたところです。

関係部局、支援施設等とも連携を図りながら安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進し、「泉佐野版ネウボラ」を確立してまいります。

空、海、山を人とストーリー
ーで結ぶ世界に通じる観光
地域づくりを

Q 観光インフラの整備状況は。

A 重要文化的景観の棚田や石積み風景が広がる上大木では、上大木集会所である蓮華寺前の駐車スペースがわずかにあるだけで、現状

・子育てから介護の包括支援で多世代を結ぶ泉佐野版「ネウボラ」をめざして
・空、海、山を人とストーリーで結ぶ世界に通じる観光地域づくりを
・国内外で活躍する人材・法人誘致と閑空支援を見据えた航空運賃助成制度の導入を
・心と身体、環境に優しい持続可能なオーガニックタウンをめざして
・市民と役所が共有した目標達成で市民に還元する市民参加型行政の実現を

は来訪者が来ても駐車が難しい状況です。交通部局、地元とも協議しながら、2次交通の整備と並行して、日本遺産周遊の拠点となる駐車場についても、引き続き検討、調整を行ってまいります。

国内外で活躍する人材・法人
誘致と閑空支援を見据えた航
空運賃助成制度の導入を

Q Peachホーダイパスの活用で助成制度の創設は。

A 市民限定で販売することは一定の効果があるとは思われますが、その一方でピーチ側が期待する効果が見込めるのかといったことや、キャンペーンの選定や設定された有効期間が限定されていること、販売枚数が少ないことなどから、市の施策推進への活用にはなじまないと思われる。現時点ではピーチポイントを活用する取り組みを進めたいと考えます。

心と身体、環境に優しい持
続可能なオーガニックタウン
をめざして

個人質問

高橋 圭子 議員



こども医療費助成制度について
さのぼポイントカードについて

こども医療費助成制度について

Q 助成対象を現在の中学校卒業年度末から18歳年度末までに引き上げることは、できないでしょうか。

A 対象年齢の引き上げは、令和4年10月から実施してまいりたいと考えています。

さのぼポイントカードについて

Q 現況と利用状況について教えてください。

A 令和3年11月末現在、さのぼの加盟店は、181店舗、さのぼカードの所有者は30,369人です。カード所有者の男女区分では女性が4分の3を占め、市内外の在住者区分では市内在住者が3分の2を占めています。令和2年度の一人当たりの消費額は、32,568円です。

Q 今後の取り組みについて、教えてください。

A アプリ化とQRコード決済導入の検討を進めています。地域の活性化に資するため、どのような設計にすれば良いのか先行事例を調査しながら検討を進めています。

Q 給食に有機農産物の使用を。

A 有機野菜は大きさが不揃いであるため、短時間で大量調理ができないことや、農薬を使わないため野菜に虫がつく確率が高く、野菜の洗浄回数が増加するなど作業工程の見直し、異物混入のリスクが高くなる可能性もあること、また、通常の野菜より割高であることなど、給食センターでの使用には課題があると考えています。

Q 野菜では不揃いなどの課題もあるかと思いますが、まずは地産地消費100%の米から有機率を高めていくのはいかがでしょうか。

A 現在、泉佐野市内に有機米がなく、量を確保できるかどうか、また、価格も約1.5倍となり、予算的な課題も大きいと思われる。

Q 自園調理を行っていることも園での導入は。

A 一番の問題は価格であると考えられますが、市場に出せないB級品で、生産者との調整がつくようであれば、導入も考えられると思います。



議会豆知識

ペーパーレス会議システム



本市議会ではペーパーレスを目的として令和元年12月議会からタブレット型端末機を導入しています。利用にあたっては使用管理基準を設けており、会議システムの利用権限やタブレットの貸与、取り扱い等について定めています。

電子化した書類が閲覧できるアプリを使い、書き込みや2画面操作、キーワード検索など優れた機能で効率の良い議会運営が行えると共にこれまで配布されていた膨大な紙の書類のコスト削減にも大きく寄与しています。

市議会を傍聴しませんか

◆3月定例会の日程表◆

- | | | |
|----------|-------------------|------------|
| 3月 3日(木) | 本会議 | 施政方針に対する質問 |
| 3月 4日(金) | 本会議 | |
| 3月 7日(月) | 本会議 | |
| 3月 8日(火) | 総務産業委員会 | |
| 3月 9日(水) | 厚生文教委員会 | |
| 3月10日(木) | 予算特別委員会 | |
| 3月14日(月) | 予算特別委員会 | |
| 3月15日(火) | 予算特別委員会 | |
| 3月16日(水) | 予算特別委員会 | |
| 3月17日(木) | 関空りんくうまちづくり特別委員会 | |
| 3月18日(金) | 行財政委員会 | |
| 3月22日(火) | りんくう総合医療センター対策委員会 | |
| 3月24日(木) | 本会議 | |
| 3月25日(金) | 本会議 | |

※本会議の傍聴はコロナ対策のため、18名までとしています。ただし、感染状況により傍聴を中止することがあります。(委員会の傍聴は三密を回避することが困難であるため、当の間、中止します)

※午前10時開会予定です。ただし、16日については、午後1時開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

※手話通訳をご希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。

表紙の写真



WHO(世界保健機関)健康開発総合研究センター 医官の茅野 龍馬(かやの りょうま)氏による「新型コロナウイルス:世界の現状とWHOの役割」をテーマに、リモートによる議員研修会を12月1日に開催しました。

新型コロナウイルスに対するWHOの果たす役割や現在の感染状況、ワクチンの接種状況などについて、最新のデータを基にお話いただきました。

また、コロナウイルスを克服していくためには、世界的な取り組みが必要であり、国や自治体が行政レベルにとどまらず社会全体が協力できる体制を構築し、適切な感染対策の徹底や必要不可欠な医療保健サービスの継続、医療施設における人的・物的資源の確保などに取り組んでいくことの重要性についてお話いただきました。



- 委員長 布田 拓也
- 副委員長 日根野谷和人
- 大庭 聖一
- 大和屋 貴彦
- 長辻 幸治
- 福岡 光秋
- 中村 哲夫

市議会だより
編集委員